

HIROSHI ヒロシ・ピアノライヴ PIANO LIVE 2003

右手で演歌、左手でクラシック#

クラシックをベースとしながらもロックから時には演歌まで、ジャンルの垣根を超越して独自のスタイルで繰り広げられる新ピアノ・エンターテインメント。

右手で演歌、左手でクラシックの同時演奏など、軽快なトークとともに異色ピアニストHIROSHIの個性的ステージをお楽しみください。

HIROSHI PIANO LIVE 2003

とき 2月9日(日)午後3時開演

ところ サンホール

入場料 前売り大人2,000円 高校生以下1,000円

(当日各500円増、全自由席)

年齢にかかわらず、すべての方に入場券が必要です。



他館の催し

宝くじコンサート オーケストラアンサンブル金沢
多治見市文化会館 (☎232600)

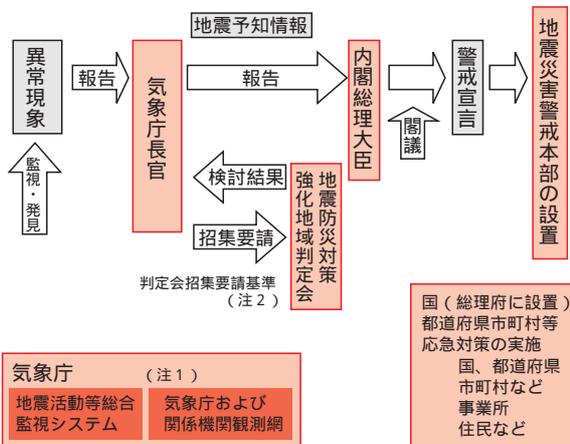
3月15日(土)午後6時30分開演

瑞浪市総合文化センター (☎685281)

3月16日(日)午後2時開演

入場料 指定席2,000円 自由席1,000円

大規模地震対策特別措置法に基づく 警戒宣言までのフロー



(注1) 186項目のデータが収集され、気象庁地震火山部では24時間監視体制がとられている。

(注2) 判定会招集連絡の伝達体制

- Q 警戒宣言ってなに?**
A 二三日(または数時間)以内に大地震が発生することが予想されるとい警告です。
- Q 警戒宣言発令までの流れは?**
A 左の図を参照してください。

東海地震の発生が騒がれて
いる今日、地震防災対策強化
地域(県下では中津川市)で
は、気象庁などの国の機関に
より、地震や地殻変動、
地下水など、百八十六項目に
わたる観測データが、二十四
時間観測されています。

観測データが異常なものと
判断されると、直ちに「地震
防災対策強化地域判定会」が
召集され、判定の結果、東海
地震が発生しそうな場合には、
気象庁長官が内閣総理大臣に
報告し、閣議を経た後、警戒
宣言が発令されます。

「もしも」「まさか」のあなたを守る
救急・消防最前線

市消防本部
☎(53)0123
VOL. 9

地震発生が予測されたら
町はどうなる?

地震に対する情報はテレビ
やラジオ、または市の防災行
政無線などで確認し、正確な
情報をつかむことが大切です。
消防署からのお願い
消火栓および防火水槽の付
近では、車の駐車車をご遠慮
ください。
消防に対するご意見・ご質問は

濃南分駐所	☎ 0119
南消防署	☎ 0119
北消防署	☎ 0119

くろいぞ。

- 銀行・郵便局**
原則として営業停止
来店中の客の普通預貯金の
払い戻し業務は一部で継続
- 学校・幼稚園**
休校
子どもはすぐ返すか保護者
に引き渡す
- 劇場・デパート**
原則として営業停止
- A T M**
一部の店舗で移動継続
- 病院**
外来診察中止
- コンビニエンスストア**
できる限り営業継続

駄知小学校附属幼稚園

「生きる力を育てるために」

駄知幼稚園では、

明るく ・よく考える子

元気な子 ・心豊かな子

・たくましい子

を教育目標に「仲間と一緒に夢中になって遊べる子」を目指して、毎日の「ぴっぴり活動」や「なかよし活動」に取り組んでいます。

一学期は、「しつけの指導は厳しく、園児の発想は大事に」を職員の合い言葉に、片付けや集合などのしつけを指導しながら、自由に伸び伸びと遊ばせ、遊びを工夫するよう働きかけてきました。

その結果、二学期末のお楽しみ会では、園児たちは取り組みの段階から、職員の予想を超えるほど素晴らしい力を発揮してくれました。自分たちで工夫したグループでの出し物、司会者の名調子、合唱での声の張り、乗り、そして何よりも他のクラスの出し物を鑑賞する姿勢のよさに成長

今、幼稚園では

こんな活動をしています

のあとが感じられました。

一学期に一人遊びすることの多かった園児が仲間と夢中になって遊んでいる姿もふえてきて職員は喜んでいきます。



肥田小学校附属幼稚園

「楽しい遊び」

「楽しい出会い」

子どもの「見つける」「楽しむ」「熱中する」姿を願っているいろいろな人や物、出来事との出会いの中で、その子らしさを大切に、その思いや育ちに寄り添うように努めています。

ちびっ子土名人

地元の陶芸家（土名人）の指導で年二回、土の感触を楽しみながら、作品づくりに取り組んでいます。

インターナショナルデー

いろいろな人との出会いを通して、五歳児なりに『世界はひとつ』を実感し、国際社会にたくましく生きる子に育つて欲しいと願い、総合活動として取り組んでいます。

お母さん先生

自由参加の日、インターナショナルデー当日や、その準備を支援していただきながら、子育ての楽しさ、難しさを共有して、お互いに学んでいく場としています。



悩んでいませんか？

～ファミリーカウンセラーがアドバイス～

Vol. 21

夫婦にかかわる悩みごと

夫婦間暴力



Q 10カ月の子どもがいる夫婦です。夫のA男は結婚してまもなく、暴力を振るうようになりました。このままでは離婚するしかないのかと思うのですが、A男は殴るにはそれなりの理由があると言って、離婚にも反対です。言い分があるのだから、カウンセリングを受けたいと言います。

カウンセリングを受け
夫婦二人で学び合おう



A 1歳にもならないお子さんを抱えて離婚を思うからには、相当な暴力があるのだと思われます。口げ

んかから始まって、次第に不機嫌になり暴力に及ぶということですが、けんかの端緒はA男さんとあなたの不仲というよりは、甘えるA男さんに、あなたが拒否的に反応していることにあるようです。

きっと、あなたは頑張り屋の女性なのでしょう。ですから、A男さんの甘えぶりがどうしても我慢できないのかもしれませんが、自分の意見が正しいものと、気付かないうちに押し付けているようなことはないでしょうか。

A男さんも、そうしたあなたを受け入れるだけの成熟さは持ち合わせてはいないのです。二人がこうした行き違いに気付き、お互いが相手に歩み寄っていくことが望まれます。

幸いなことに、A男さんはカウンセリングを受けたいと言っています。離婚を決めるのは、カウンセリングを受けてからでも遅くはありません。ぜひとも二人で学んで成長して行ってほしいと思います。

（カウンセラー・大越静子）